

日々の田高（電気通信大学高大連携基礎プログラミング）

8月25日（月）、本校生徒3名が、電気通信大学による「大学授業科目先取り学修」の一環として行われている「高大連携基礎プログラミング」の第3回スクーリングに参加しました。

スクーリングの前半では、Ruby言語を用いて制作した画像作品の発表会が行われました。他校の生徒による個性豊かな作品を見て、今後の制作や発表に向けて多くの学びが得られる良い機会となりました。本校の生徒は、次回以降のスクーリングで発表を行う予定です。

後半のグループ活動では、10枚のカードに異なる数字を書き、それらをランダムに並べた状態から、小さい順に並び替える課題に取り組みました。並び替えのルールは「2枚のカードを入れ替える操作のみで行うこと」。この条件のもと、「どのような手順で進めれば効率的か」「交換回数を減らすにはどうすればよいか」といった問いについて、生徒たちは互いに意見を出し合い、考察を深めました。実際に手を動かしながら思考と検証を繰り返すこのような実践は、論理的思考力を育てるうえでも効果的であり、今後のプログラミング学習にも大いに役立つことでしょう。

今回のスクーリングは11月16日（日）に実施予定です。生徒たちはそれまでに、e-learningによる学習を進めながら課題に取り組み、発表の準備を行っていきます。

本校では、こうした高大連携の取り組みを通じて、参加した生徒たちがプログラミングの力を確実に身につけ、将来の進路にもつなげていけるよう、今後も積極的に支援してまいります。



講義の様子



グループ活動の様子